

新潟縣 公民館月報

(昭和33年3月18日第三種郵便物認可)

昭和37年11月1日(毎月1回1日発行)

発行所 新潟県公民館連絡協議会

(新潟市一番瀬通町・県教育庁社会教育課内)

【電話(新潟) 334111の658】

【振替(新潟) 4094】

発行人 安 沢 純 正

(定価 1部10円)

11月号 (117号)

公民館主事会

県館条例・基準案など研究

要望調査を重視・結論は次回に

さる十月十九日、杉野幹事長以下十八名が出席、新潟市柳水閣で県公民館主事幹事会が開催された。
『県公民館の設置及び運営に関する基準』、『県公民館に関する条例』の主幹案の作成のため、各幹事はこの日提示された復案を持ち帰り、十一月末までに事務局へ提出し、二月上旬以降で開催予定の次回幹事会を再検討することになった。

三十四年十二月二十日、達によって、各都道府県において、さる二十九日九月六日、八日新潟八日付をもって告示されたに適合した基準を設定する。市越後自治会館において県公連された「公民館の設置及こととなっていたものが、本県主事会で開催した「公民館基準案」にび運動に関する基準」教委ではこの基準を作成すると、ついで審議する会議」において決定した復案と文部省各県案をまとめたことになった。

突、正面からこれを取り組むことになった。これに先だち、県公連の意向打診というかた、主事会側の要望と基本的な留意点などについて意見をまとめることになっていた。

その他当日のおもな議題は次の研修について(県費二十万円)の補助が決定、開催要項作成について(十二月月中旬止下越において)十二月月中旬止下越において(別稿) ④青少年指導者拡充で開催予定。

とめた「公民館に関する条例研究案」を中心と昨年度主事会を実施した「公民館職員身分(処遇)実態調査」にも早く要望事項のまとめを参考に討議がくりひろげられたが、決定にまで至らず次回に持ち越された。

本年度大臣表彰公民館きままる

昭和三十七年度の全国優良公民館表彰はつぎの館にたいし十一月三日(文化の日)の午前十時から文部大臣室で荒木文部大臣から表彰状と記念品がおくられた。本県には横山館はなかった。

なお、受賞公民館の代表者は例年のとおりこの日午後、宮中で天皇陛下にお目にかかり、激励のことばをいただいた。(全公連速報による)

受賞公民館と館長名
北海道管長野町公民館 吉田 勝 男
栃尾県田沼町中央公民館 内田 周 吉
愛知県守山中公民館 黒 田
広島県世羅町津名公民館 奥 川
山口県阿部町中央公民館 佐々木
長崎県高島市三公民館 森 本 金 寿
大分県佐賀町公民館 古 代 孫 一



女子職員三名も初参加
盛会だった第二回長期講習

県教委主催、本会協賛による第二回公民館職員講習会が11月1日から12日間県立青年の家において開催された。開講式には松原県教育長、安沢本会会長も出席、それぞれ受講生に対し激励のあいさつがあった。本年三月の第一回受講生48名にひきつづいて42名で今回は受講、合計90名の県規程による単位修得者を送り出したわけである。

講習科目は第1回同様、社会学、心理学、社会教育概論、社会教育施設論、公民館経営法などの七単位、講師は平沢東京大教授、黒田新大教授、中島文部省専門員など一流どころを含む29名という充実した陣容で文字どおりぎっしりつまった日程を無事消化した。このたびの受講生のなかには、はじめて参加した新潟市の田中芳子さんなど三名の女性が加わっており、会場に明るい雰囲気をもしていた。

開講式は10月12日午前11時から行なわれたが、受講生代表大宮眞一氏に対し、宮内県社教課長補佐から「受講証明書」が授与された。なお1月末までに受講生のレポートが提出され次第、単位修得認定書が交付されることになっている。講習の模様は受講感想記とともに四、五面に特集した。

長期間講習受講生研究主題一覧
献血を全県運動に P. 2
長期講習をふりかえる P. 3
ほげつーもってん P. 4.5
ある日のシンポジウムに参加して P. 6
P. 7

11月の歴史

片山 潜

一九三三年十一月五日、モスクワで死ぬ。西学しつつ渡米、日本労働運動の創始者。うちコミンテルン代表となりロシアに住む。

× 予は時に、感ずることがある。人間には運命というものがある。自分である程度までこれを開拓して行くことができる……

× 世人は暇があったら何をなすとか、金があったら何々を実行するとかいって、暇と金とに全責任を負わしている者が多数であるが、実際、この暇と金とも自分ですらうにかたしてこられないのだということを深く確信しているものはいないようである。予はこの当時は別にどうとも感じなかつたが、今から考えてみると、たしかに人間というものには、種の運命というものがある。これをある気まで支配することが出来るものだと願う。

× (自伝) 中
×

37年度公民館職員講習受講生研究主題一覧

研究主題	市町村	氏名	研究主題	市町村	氏名
産業構造改革期の農村(山間)に於ける社会教育の浸透。	中郷村 新井市	博田文雄 関原賢照	湯沢町における社会教育の対象としての青年の実態。	湯沢町	高橋伝左エ門
地域住民の職業構成から見た社会教育の進め方について。	村上市	高橋芳之	青少年教育を進めるために。	直江津市	平柳昭二
経済発展に伴う既成集団の衰亡と今後の方向。	高田市	風間清 岩崎健一	産業教育と公民館活動について。	栃尾市	岩崎良助
外海府地区における成人意識の調査。	相川町 相野町 相川町	岩崎昭治 神藤嘉一 幡豆三彦 安藤一寿	農業構造改善への感覺的なわが産業講座(農業講座)の歩みをかえりみて。	十日町市	須藤彦四郎
地域における成人教育のすすめ方。(主として成人男子との結びつきについて)	西川町 岩室山東村 吉野村 黒水村	今井吉雄 福田和茂 宇佐美丞助 坂井栄助 平原秀男	調査結果から見た住民と公民館、今後の活動の指針を見出すために。	亀田町	本田静子
婦人の学習活動の発展段階に於ける学級生の仲間関係の変化と学習内容の変化について。	十日町市	地田清	公民館運営について。	牧村	羽深密
婦人学級と地域婦人会との関連。	名立町	小地健一	読書会活動について思うこと。	小千谷市	山崎忠一
新潟市における勤労青年の学習活動はどうあるべきか。	新潟市	稲葉幸次 松田松男 河内孝司 田中芳子 梁取可寿子	図書の利用は今後いかに運用すべきか(図書利用の現状を調査して)	塩沢町	小野沢一吉
地域に於ける青年学級(職業学級)の進め方。	豊栄町	安達千松	部落の中における視聴覚教育について。	新発田市	竹内善一
			農村に於ける社会体育の進め方について。	新井市	平井康夫
			都市における青年学級について。	柏崎市	仲野新一
			農村における青少年教育について。	栃尾市	多田克彦
			当村に於ける青少年教育問題研究	神林町	佐藤文修
			下宿型青少年の多い町の青年学級について。	新潟市	徳永章司
			総合社会教育計画と公民館の役割。	白根市	時田宣一
			長岡市における公民館の諸問題。	長岡市	大宮貫一
			農村部における学習活動の進め方。	水原町	小池昭吾
			自主性のある青年学級のあり方。	小須戸町	栗林毅
			農村における青年教育の問題点。	横越村	柴沢文雄

住民の熱意の結晶

青海町田海公民館が落成

さる十月十七日西頸城郡青海町三十四年七月公民館機構の改革と田海公民館(館長七沢重氏)のともに公民館新築促進委員会を結成したことは、まじり、その後町民の有志の協力によって用地も確保も整った総延坪一〇七坪(三五四平方尺)の木造二階建。

資金は町の一般会計から四五五万円、県補助二十五万でまかなわれた。田海公民館の建設は、さる

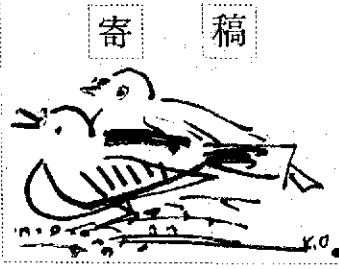
設備には、放送設備、十七インチテレビ、ステレオ、調理用器具一式などがあり、今後さらに充実の方針。三十七年度の事業をみると水難防止講習会、菓子作り講習会など地域に結びついたユニークなものを企画実施し、意欲のあるところを示している。また二月落成する同町中央地区分館とともに新しい活躍が期待される。



写真右・田海公民館全景
写真下・階下入口とロビー



近頃毎日のように浜山の人から健康を損ね心臓衰弱が遂に
通事故で死ん
だり、大ケガ
をしたりして
るが、そんな
ときは必ずす
といてよい
ほと浜山の輸
血が必要にな
ってくる。



寄稿

は死さざる現
状は大きな社会
問題である。健
弱者でも年回
五、六回が適
とされてその
このように週
五、六回も採血
をくり返して
れば血液の比重
不足も当然で
不規則な採血
の打撃の途は国民全部が赤血の幣
害や正しい採血の必要を理解して
必要な血液はその地域でお互いに

本県では年間七五、〇〇〇本
一本二〇〇ccで牛乳瓶一本位
の採血血液の使用が見込まれてお
るがその約二〇分が新潟血液銀行
で調製(このうち八七〇分が赤血
液)され、残りの七〇分は県外からの
移入で賄われている。時々は一時
に浜山の需用に足らぬ場合
もあって、今後の対策が検討され
ておるわけである。従って今後こ
の打撃の途は国民全部が赤血の幣
害や正しい採血の必要を理解して
必要な血液はその地域でお互いに

つたら必ずその分は誰か必要の
者のために血液銀行にお返しお
くことである。
しに盛子ちゃんに代って削って
献血されておる。
一般の人は献血に際し余程苦痛
が伴うよう考えがちであるが決して
大して痛くも無い。後の成分分
悪くはない。新潟市内のある女子
高校生も両親がガンで輸血を受け
たことに感謝して四、六、七、八
月と既に四回も献血して何ら苦痛
を感じないといわれそうに語っ
ておられた。
さてこのような献血も採血者の
ない限り現在の制度では血液銀行
以外採血ができないから遠方の地
域では献血し
うにもどうにも
ならない。斯様
な地方は必要
時にいつでも供
血し助け合う用
意に予約登録制度がある。
先般十日町市で重傷患者の輸血
が必要の際、サインで献血者を
求めたという例がある。この
いう時に備えて自分の血液型を止
しく検査し知っておくこともにそ
の氏名住所、勤務先、血液型を市
町村役場に登録していつでも献血
に必ずすることができるようになっ
ておく制度である。
市町村では保健所や医師等にも
連絡しておく二層効果がある。
今度十日町市で「災害や事故な
どの場合に愛の献血がすぐ役立つ
ように」と積極的に町内組織を作
って血液型を検査し予約登録を進
められており、小千谷市でも日赤

献血を全県運動に
日赤新潟県支部

また脳やカ
ンの手術ある
いは心臓や肺
の手術などにしても輸血がで
ければ助からないといわれてい
る。このように血液は何ものにも
代えがたい貴重なものであるが、
宇山時代といわれるほど化学や技
術が進んだ今日でもまたこの貴重
な代用品は発見されていないま
た輸血に使う採血血液が誰かが供
した専ら人間の血液であることも
案外知られていない。
このように輸血が一般に使用さ
れるようになったのは昭和二十六
年に血液銀行ができ、そこで便利
な採血血液が運ばれるようになって
からである。
近年採血血液の使用が増進して
年間五億三千万cc(これを閉う
に二六〇万人が一週に二〇〇cc
宛を供血することである)が必要
とされているがそのうちの殆んど
が一部の生活困難者の赤血で賄わ
れているのが実体で、僅かのパン
代に肉体の一部である若い血液が
提供されていることに問題がある
殊に適に撤回も無理な赤血とする

商業血液銀行では活りにさぐれ
ば多少無理を承知でも採血する
自然と血の質
も低下し、医療
上効果があらず
なる。また効果
が低ければ、い
きおい増量の輸
血が必要となるし需用がふえれば
これを充すために強い赤血者を
求めることもまた当然である。
ところが赤血者は僅かに数方の
限られた(生活困難者や学生、ふ
る者)者に固定化しておるから
その弊害は益々大きくなってき
つてあるのが日本の輸血事情の実体
である。
このことは現に赤血者の半分以
上が規定の比重不足で採血不能と
して断られておることで明かであ
る。道々からも放置できない問題であ
る。

赤十字愛の献血運動は厚生省の
意図と同様、人道と日本の将来の
血液本業の正常化のために国民の
理解と協力を求めるゆえんで
ある。
本県では年間七五、〇〇〇本
一本二〇〇ccで牛乳瓶一本位
の採血血液の使用が見込まれてお
るがその約二〇分が新潟血液銀行
で調製(このうち八七〇分が赤血
液)され、残りの七〇分は県外からの
移入で賄われている。時々は一時
に浜山の需用に足らぬ場合
もあって、今後の対策が検討され
ておるわけである。従って今後こ
の打撃の途は国民全部が赤血の幣
害や正しい採血の必要を理解して
必要な血液はその地域でお互いに

また選挙グループの方々と白根
市のある青年団を始め新潟市内高
校青少年赤十字の団員など夫々十
数名を冠進んで私団献血されている
また職場としては警察機動隊や消
防隊員の方々と若い献血をされて
いるし、五泉のある婦人や大江山
の農家のご主人など現に十回も献
血して先般表彰を受けており、今
後も健康である限り献血は続けた
いと誠に篤い篤志者もある。
R.H.C. 話題を呼んだ三条市の羽
田野啓子ちゃんの御両親もお返還
められており、小千谷市でも日赤

地区が主体となって年間三子名を
重の赤十字精神に則つたものであ
るに、市勢に呼びかけずして実
の相互扶助の民主的精神を培う点
から立派な行爲であろう。
県内各市町村はもちろん、職場
学校公民館におかれても、このよ
うな措置が一日も早く講じられて
赤血液型検査を行って不慮と将来
の献血に備えられたことも人命尊
厳とを切望して止まない。
~~~~~

大学通信教育

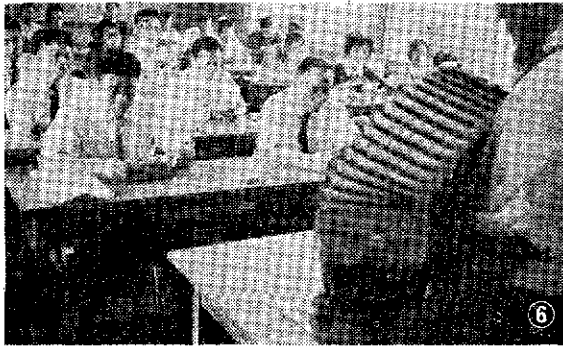
公民館職員の入学を希望

大学教育を一般に広く開放しに長野市、栃木市、小山市大館  
入学者の卒業後の資格(学上)市等の中央公民館では、日本の  
号)等もすべて毎夜開校の学 大学通信教育学校というものを  
生と同じとする。大学通信教育 開設し、一般にも開放して大き  
育)が公民館職員の入学を希望 なる成果を上げている。県内でも  
している。  
現在大学通信  
教育を開設して  
いる大学は日本  
大学、中央大学  
法政大学、慶応  
大学、玉川大学  
日本女子大学の  
六大学があるが  
このうち特に、  
日本大学通信教  
育部では公民館  
職員の人学に関  
心をもち、熱心  
に勧誘に努めて  
いる。  
先般、全公議の橋本氏を通じ  
日本大学通信教育の馬場教務課長 ○学費一年一〇、八〇〇円  
施設学生課長が来日し「県内の ○詳細を知りたい人、入学を希  
有志にお知らせいただきたい」 望する人は県公事事務局へ返  
と資料を持参して呼びかけをし、 信料一十円封入で申し込むこ  
てだった。両氏の語では「まずで

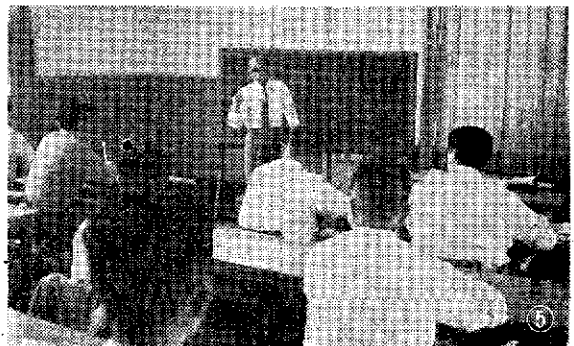


特集

第二回公民館主事



夕食前のしばらく、湊小の栗原先生の歌唱指導を受ける。大きな声を出してうたうと一日中の全身の緊張が解きほぐれるようだ。さすがは公民館職員。先生がどまつくほどうまかった。



かんでふくめるような新大加藤教授の学習心理の講義 黒田教授の宿題「投影とは？」をいとも簡単に解答してくださったので一同わかったようなわからないような。もっとも学習心理はわかる人がわかる。のだこのこと。



長い講習が終了受講証明書もいただいた。あすからまためまぐるしい現場が待っている。身につけた新しい理論体系、さあこれからの実践が問題だ。万感こもこも赤飯をかみしめる。



東京教育大学の平沢教授の社会教育概論。とうとうと尽きることのない名詞子、教えを受けた県内の社会教育主事の諸氏も最後列で熱心に受講していた。

のかと自分という者を見つめたとき 恥かしく学習の意欲をあらたにした。開講式に谷社会教育課長が「仲間づくり」という意に力をいれられたが、受講生全員の名前と顔を覚え

鬼に金棒になりうるか

第四班 坂井 燾

十二日間、七単位、公民館職員講習、今の仕事をすらすらこなすようになって得た。本格的な講習の機会があった。社会学、心理学、施設論、経営法、関係法規等々、頭の中に一杯つめ込んだつもりだったが、大半は霧散したような気もする。

しかし激しい社会の動きの中でいままでの積み重ねてきたものだけでは打開出来得ない厚い壁を前にして、ややもすると自分自身を丸見えにさせてしまいたい。そうだった私は今回の講習会がまさに晴天の慈雨といえる。

講習の後半には「鬼に金棒」で何んでもかかってこい、という自信がえ湧いてきた。戦後の公民館設置の基本目標とされた、地域における民主主義の確立を思い起し現在の社会

ずに終ってしまった。記念写真が何よりの頼み。 受講生全員、それから県青年の家に植えた記念樹の成長を祈る。(牧村公民館主事)

× × ×

× × ×

(新潟県公民館)



稿

投

ぼけつ—もうてん

青年大会十周年にあたって

小 熊 哲 哉

柏崎 新潟—長岡—高田—新発 たび全国大会に出場すると、メン

青年は大会だけが使命ではない といつもがなかなか頑固なもので

筆者紹介 柏崎市社会教育委員、中央公民館 館長

た。そして無理をしなければならぬが、その十年間の演劇部門を全

たしかに、このテーマほどの青 年団にとってもあつかる壁で大切

柏崎演劇研究会会長。 昭和三十五年度全国青年大会

沖繩の公民館

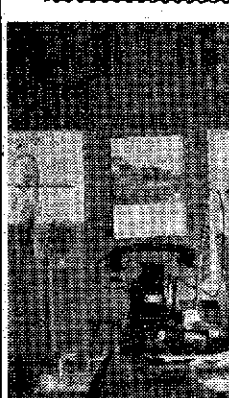
石 井 耕 一

社教主事は教職と交流

(10月号)沖繩の公民館を見 中野村に遠征され、その教は山

と教員であるが、今後学校へ復 職しても身分致致上その者に不利

一泊の旅は、近かな湯に求め 麻雀の四人夜明けの湯につかり



【月予定表をバックにあすへの構想を練る北川主事】

北川郡司氏

西浦巻町公民館主事 ことしの跡彦での 県大会は、西浦公連

ヘテランのプロフィール 昭和二十四年十一 月、巻町公民館に就

【月予定表をバックにあすへの構想を練る北川主事】

多趣味であるが、巻町には 歌舞伎を見る会、観劇会をつく

余計も収集しているという。西 浦公連の群雄のなかにあって、

柔軟な精神と身体で、巻町公 民館として公連の柱となってい

部管原配)

# 社教大会のシンボジウムに参加して

## 青木 英治

それは社会教育大会の名のもとに、公民館連合協議会、教委連絡協議会、県公民館、地元教育委員会の共催で後援団体は郡内のあらゆる団体に参加するという豪華なものであった。秋晴れの麗麗の日とはいいながら集ったものは、一部のグループに限られていた、百余人中、婦人会が大部分、外に校長連が数名保護司が数名、他は公民館の職員だけであった。

青年団員が一名もなく、社会教育委員の姿も見られなかった。これで社会教育大会が行われたのだから、抜け穴だらけというところになる。

司会者があと二十五分しかないが活発に意見を述べてもらいたい。質問をさせたものが男に三名、女に二名あった。それと講師の応募などもあったが、何しろ十五分の協議では何の結論も出なく、あつげにとられた形で終ってしまった。私は方々の集会に出る見るが、日程の組み方や司会の不手際から研究協議の時間がいつも不足となつているので、時間に制限がある時は、意見を述べているものでも

われらの先祖が血のにちむよう紙ヒラ敷がかり、第十一回全国公民館大会歓迎と記されてあるのみで大会の案内所がなかり、一時の地方に流していただいた。大いながら大会までわれわれ現場職員が、その実現に望みをかけ東奔西走位設けてもらいたかった。その日涙ぐましい日夜の努力をつけて

せめて集った人たちには、有意義であったといわれるように、日頃の組み方と司会の方法を主催者は十分に研究して欲しい。

さらに、有益の会にするには人を集めることから計画せねばならぬ、社会教育であるからには、成人のあらゆる団体から参加し、お

# 大会に望みをかけての印象

## 近 藤 義 範

それ以上、シンボジウムの扱い方がまことにまずい。テーマは「健全な青少年の育成はどうあつたらよいか」いま各地で取りあげられる大きな題目でそのものには文句をつ

期待をもつて参加した。十口午後四時目的地帯広市に着き、さてわたしの旅館、明日の研究会の会では発言者がきまらぬかと思つた。丁度駅前小さな

この大会が口を揃えてさげふばかりでなく「公民館職員の法的身分の保証、確立」「国、県の大巾補助、短賃、国民年金、融資の増額」など、日でも早く実現される日を期待している公民館人の一人である。(金井町社教主事)

津軽を渡れば北海道・車窓に、兎角田りかどに行き悩んでいる展開する自然の雄大さ、流石に、若しくは、希望を光輝を与え、大地には一寸見られぬ景色が眼を惹きつける。規模の大きさは予想以上、唯々感嘆……

四つの県を合せたより広いといわれる。十勝の平原のど真中に、近代設備の整った帯広市公民館が、八十年の開拓精神を象徴するかのようになっている。如何にみせているのかも、如何にも全国大会の会場にふさわしい。

三日間にわたって開催された大会も、日程はしたがって、正確な時刻で運営され、大変好感ももてた。

# 全国大会参加の感激

記念講演、研究報告、分科会討議と型どりの日程ではあったが、その内容は充実されており、発表、発言された意見内容は、長年この道大会参加の感激を新たに一生に精進している人々が、自分の懸命前進したいと思つている。新しい体験よりにみ出したものだけに貴重なのが多かった。

(新潟市公民館 大江山分館主事)

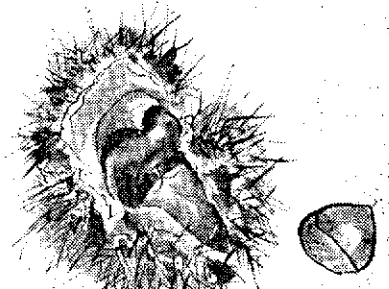


**社会教育法令集** 一部 30円  
**公民館の手引** 一部 15円  
 運営審議会、社会教育委員会等の資料にお使いください。御一報次館直送いたします。送料10部以上無料。  
 (県公運事務局)

**北海道赤中吟** ② 巻 原 健  
 一 狩勝峠附近  
 くるる貨車よるわが汽車の呼び交はす汽笛は高の暗をひき裂く  
 泥炭地つぎに続き貧小なる農家のあかりちりほひて街  
 「工砂くすれ見下す夜目に白くうづの狩勝の月あざやかなるも

# 読書の秋

落合辰一郎



毎年のように繰返されるこの千秋になってきこの頃には、ヤッチ・フリーズが、今年もまた深い郷愁に似た親しみを落着きをあちこちでかかれる季節となった。読書は世間で絶然たる名義なのだから、何も秋とは限らない、まして秋だけの読書などというは、連、英国について世界第三位であるのではないが、それでもやはりるといわれる。

更に「出版年鑑」一九六二年版によると、昨年一ケ年間にわが国で発行された図書が二一、八四九点、総発行部数二〇、六一〇万冊、雑誌(週刊誌を含めて)二、四二八点、総発行部数一〇七、五七〇万冊といわれている。われわれは日々、こうしたおびただしい出版物の洪水の中に生きていくといっても、あえていすぎではないであろう。数の点ではたしかにわれわれは読書好きな国民であるかも知れない。がしかし質の点ではどうなのであるか。

毎日新聞社の「読書世論調査」一九六一年度調査によると、次の重要な二つの点を指摘している。

- 1 最近の一般的な読書の性格が、教養から娯楽へと変わりつつあるといふこと。
- 2 テレビの長時間視聴者が、年々歳々増り返されてきている年を追ってあえていふのに、このこととは、その意味、内容は

この二つの傾向を、われわれはどのように理解し、どう受けとめてゆくべきであろうか。

### 或る青年の悩みを歌ふ

青少年問題と取り組んでの中の  
一青年に就職相談をもちかけられて  
父として育ちし手ゆえドライなるか病む母の悲鬱どこにかかっている  
病む母と二人くらしの生活言ゆえに下ライに職をふるふ  
病む母をもつ生活にかかっているあやしき運の職に奉かるる  
事業体それ自体には不安無ければ何と堅実な薄給職か  
職をふるふ青年のやむなき心持ち言へし理想へきつ々注意す  
この青年に非行性あるはずもあらはれば母を病ませて振舞止まねば  
どこなりと就職急げと病む母の説諭とがり来賣弱るるよ  
ドライ、ウェット、就職難職管等す嫌ひれもせずよ現代の青年

### 北海道の旅

本間敬吉  
貨車や女朝霧をくく和山丸  
眼疾富士やとうもろこしの畑の果  
あおき見る七賢も秋雨に  
秋晴れの秋風の湖は青し青し  
色鳥のマリモの湖を渡るなり  
日前に秋の雄阿蘇大うねり  
爽やかや微醺に眠るオホツク海  
茅野茶屋の冷茶にはしり蕎麦  
(佐渡畑野公民館長)

## 公民館横丁

### 金を出したものの

山また山、段丘また段丘の山間地域に居住する多くの部落。公民館の人たちがバイクや自動車と運るにもたへんた。これが冬になると大余の当り埋もれてしまふのだから隣の部落へ行くにもよほどのことなければ出かける気にもなれない。こうしたころは県内にもあちこちあるが、中魚沼郡津南町はこの代表的なところ。こうした地域の社会教育活動は部落を中心とした小集団活動に重点がおかれることが効果的と思うが、それだけでは井

「買っものなら元口の葬式でもいい育の好例がこれだ。(若者)

戸の中の駐栗園という面も出ないわけではなく、とこで津南町公民館では公民館のほかに「べんきょうするお母さん」のひろばという月刊紙を出している。半紙版二つ折四頁、活版刷り。編集は同館の鶴原秀一主宰。同事は編集やカットを書くことには独特のセンスを持つ専門家だ。毎号すばらしいものが出来上っていく。特に面白いのはこのリーフレット程度の月刊紙の代金年額三十円也をとっていることだ。

## 寄贈ありがとう

新潟市政だより国政二第(長岡市中央公)館報  
体版新報新聞、町くろかわ(黒川村公)津川町公民館  
のあゆみ(田町)やま(松之山町公)津川町公民館  
累たより(泉文報、笹神村公民館たより、真野公  
社、新生(入込瀬村公)川口町公民館、富山県公  
村公、新潟県人日、民報、いといがわ(糸魚川市  
身念(東京新報)公)広報(こすと)(小瀬戸町公)む  
県人会)とよまかいか(六日町)一九六二年国  
報、真野町行事たより、きたじよ(川西町公)なほえつ(直  
う(北条町公)ひこし(長岡市江津市公)新潟県人(東京新報  
越公)津川町公民館報、さわた(人念、畑野町公民館たより、新報  
佐和田町公)新井たよりの、やわら(社会福祉、新生(入瀬村公)新報  
ぎ(県立図書館)といがわ(糸魚川市)新井たよりの、いわ  
魚川市公)広報(おち(新居市)むつ(若菜村公)広報つばめ(無  
公)県連青ニース(県連合青年市公)さわた(佐和田町公)公民  
団)新潟郵局ニース、広報(三重(三重県公連)館報にしや  
かみ(山形村公)富山県公民館報、ま(西山町公)ゆさわ(湯沢町  
長岡下西山たよりの、館報(ま、ひ公)



毎月、印刷所を叱咤督促しながら、一日も早く皆さんのところへお届けしようがんばいいんですが、念入りの校正の時間がなく、どうしてもやっつけ仕事になりがちです。毎日完成後に発見される誤植などで御注意をいただきたい、いつもはらばらしていただきます。頭の良い皆さんからよろしく御意見をいただきました。いよいよ新年度の予備編成期に入ります。どこでも同じだと思いますが、諸物仙高騰のおおりに例年程度の予算ではやりくりがつかなくなってきました。目標にむかっては信念をもってがんばります。県公連も最善をつくします。(本)